

平成23年度

学習指導計画(シラバス)

国語科

岩手県立盛岡第一高等学校

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	国語総合	1年普通科・理数科(5単位)	必須
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
<p>・国語の多様な文章を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、進んで表現する力、読書することによって人生を豊かにする態度を養う。</p>		<p>・教科書 国語総合現代文編・古典編(大修館) ・評論 ちくま評論入門(筑摩書房) ・古典文法 体系古典文法(教研出版) ・便覧 新訂総合国語便覧(第一学習社) ・漢文 漢文必携(桐原書店) ・漢字 頻出漢字マスター3000(尚文出版)</p>	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】 [現代文] ・水の東西・羅生門・「しきり」の文化論(『四、さまざまな文章』より一時間程度の演習) [古文] ・児のそら寝・絵仏師良秀・阿蘇の史 [漢文] ・漢文訓読のきまり・訓読に親しむ再読文字のまとめ</p> <p>【前期末】 [現代文] ・小説「夢十夜」・小説「とんかつ」 ・評論「自然と人間の間を通って考える」 ・評論「言葉についての新しい認識」 [古文] ・徒然草 これも仁和寺の法師 奥山に猫またといふもの ある人、弓射ることを習ふに高名の木登り をりふしの移り変はるこそ [漢文] ・五十歩百歩・矛盾・蛇足・朝三暮四</p> <p>【後期中間】 [現代文] 小説「セメント樽の中の手紙」 評論(四)「短歌を訳す」 短歌・俳句 小説「城の崎にて」 [古文] 枕草子「春はあけぼの」「虫は」「はしたなきもの」「雪のいと高う降りたるを」 [漢文]「先從隗始」「臥薪嘗胆」</p> <p>【後期末】 [現代文] 評論(五) 小説「なめとこ山の熊」 評論(六) 詩歌 [古文] 「竹取物語」「伊勢物語」 「土佐日記」「平家物語」 [漢文] 絶句 律詩 「論語」「孟子」</p>		<p>評論、小説を的確に読み取る基礎力をつける。 構成、表現に留意して、主題を文脈に沿って読解する。社会や人間に対する問題意識と基礎的な教養を養う。 古典学習の方法を学び、音読・現代語訳できる力を養う。 古典文の特色、品詞・用言の活用、基本的助動詞・助詞を学ぶ。場面の展開を追いながら物語を読み取る。 漢文の特徴と訓読、音読、現代語訳の基本を習得する。 短い漢文を読み慣れ、主題をつかむ。白文読みする。 (白文読みは、毎学期末に行う。)</p> <p>構成・主題を押さえて、表現に注意しながら、作品の世界を味わう。 ・評論を読解力を高めながら、言語について認識を深め、文学作品の修辞について理解する。作品の感動の中心を人間と人間、人間と自然界の間を通って考える。</p> <p>随筆の世界を味わい、的確に現代語訳する力を付ける。 基本的な助動詞・助詞や敬語を習得する。古文読解に習熟し、修辞にも留意して古典物語・日記を味わう。助動詞・主要助詞・敬語 故事成語の由来を理解し、比喩の内容や人間の心理を考える。</p> <p>小説の世界を味わい、登場人物の心情を理解するとともに人間心理に対する理解を深める。</p> <p>随筆の世界を味わうとともに、作品の背景や特徴を理解する。 登場人物の関係を把握し、心情を理解するとともに現代に通ずる普遍的な主題を考える。</p> <p>韻文を鑑賞し、作者の心情を理解する。 様々な物語や日記文学に触れ、比較を通して古典文学に対する理解を深める。 思想的な文章を理解する。</p>	
<p>・授業における取り組み状況 ・定期考査 ・小テスト・課題テスト ・提出物(週末課題・授業レポート・ノート等)</p>		<p>・現代文 毎時間漢字の小テストを実施。また、辞書を引き、多読し、基礎教養と語彙力を付ける。 ・古典 予習=原文音読と書写・口語(現代語)訳(漢文は書き下し文も書く)→授業=予習の修正・深化。内容がよく分かり、深く分かるための読解の方法を学ぶ。 →復習=重要事項の暗記と読解の方法を習得する。</p>	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	現代文	2年普通科・理数科(2単位)	必須
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
<p>・評論、小説を中心に現代文の多様な文章を読む能力と技術を養い、ものの見方・感じ方を広め深める。また、表現する力を伸ばして、読むこと、書くことの力を人間形成に生かし、時代と社会を自ら先駆的に切り開く若者たる人間力を作る。</p>		<p>・教科書 精選現代文(大修館) ・評論 ちくま評論入門(筑摩書房) ・現代文用語集 現代文単語(桐原書店) ・漢字 頻出漢字マスター3000(尚文出版)</p>	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】 ・『私の愛するノート』(小川洋子) ・『木ヲ植エル』(新井満) ・『ミロのヴィーナス』(清岡卓行) ・『山月記』(中島敦)</p> <p>【前期末】 ・『大人への条件』(小浜逸夫) ・『レキシントンの幽霊』(村上春樹) ・『永訣の朝』(宮澤賢治) ・『ものごとば』(鈴木孝夫) ・『「的」のつく言葉』(鈴木修二)</p> <p>【後期中間】 ・『ころ』(夏目漱石) ・『モード化する社会』(鷲田清和) ・『科学の現在を問う』(村上陽一郎)</p> <p>【学年末】 ・『情報の力関係』(佐藤雅彦) ・『「である」ことと「する」こと』(丸山真男) ・『世界は、今——「多文化世界」の構築』(青木保)</p>		<p>◦ 評論・小説を的確に読解して内容を説明する方法論と技術を意識しながら読む。 ◦ 構成、表現に留意して、主題を文脈に沿って読解する。 ◦ 書くことと読むことの力、社会や人間存在に対する問題意識を持ち、考えを深める。</p> <p>◦ 構成・主題を押さえて、表現に注意しながら、詩・小説作品の世界を味わう。また、本校の偉大なる先輩・宮澤賢治について理解を深める。 ◦ 評論の読解を通して、近代の「子供」と大人の関わり、言葉・言葉の人間の関わりについて理解を深める。 ◦ 本学は特に文章を速読する力を養うことを目標とする。</p> <p>◦ 人間と人間の関わりを「ころ」のドラマを通して考えるとともに、作品の表現を味わう。 ◦ 社会と科学の有り様に理解を深め、それを現代社会を生きる自らの問題意識として持つ。</p> <p>◦ 近代・現代社会に理解を深め、一年間の学習を通して、現代を生きる問題は那边にあるかをとらえ、三年生での現代文の学習に備える。 ◦ 現代文を読む方法や技術が身についたか、チェックし、特に評論の読解力の完成を目指す。</p>	
評価方法		学習の方法	
<p>・授業における取り組み状況 ・定期考査 ・小テスト(『現代文単語』) ・提出物(週末課題・長期休業課題・課題シート、スクラップリレーブック等)</p>		<p>◦ 学習課題シートの予習＝指定された記述問題の解答を書く。→授業での深化・修正。また、辞書を引き、教科書の「現代文キーワード」、『現代文単語』によって語彙力と基礎教養を付ける。 ◦ 週末課題・長期休業課題などを通して、押さえ所を意識した読解と、本文そのものから教養を得る。 ◦ 日常の読書(“カバンに常に一冊の文庫本 or 新書を”)やスクラップリレーブックによって、問題意識と教養を高める。</p>	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	古典	2年普通科(3単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		・教科書 古典(大修館書店) ・参考書 【古文】新しい古典文法(桐原書店) 古文単語315(桐原書店) 【漢文】高校漢文(東京書籍)	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
【前期中間】 [古文] ・『宇治拾遺物語』「検非違使忠明の事」 ・『十訓抄』「大江山いくのの道」 ・『徒然草』「家居のつきづきしく」「応長のころ、伊勢の国より」「花は盛りに」 ・『平家物語』「宇治川の先陣」 [漢文] ・故事成語「助長」「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」「糟糠之妻」「塞翁馬」 ・『史記』「鴻門の会」 【前期末】 [古文] ・『平家物語』「能登殿最期」 ・『枕草子』「中納言参りたまひて」「二月のつごもりごろに」 ・『伊勢物語』「初冠」「月やあらぬ」「関守」 [漢文] ・『史記』「項王の最期」 ・漢詩「江南春」「秋浦歌」「登高」 ・文章「桃花源記」 【後期中間】 [古文] ・『大和物語』「をばすて」 ・『大鏡』「道真左遷」「競べ弓」「花山院の出家」 [漢文] ・文章「捕蛇者説」 ・思想「論語」「孟子」「荀子」 【学年末】 [古文] ・『土佐日記』「羽根」 ・『更科日記』「あこがれ」 ・『源氏物語』「桐壺」「若紫」 [漢文] ・思想「老子」「韓非子」 ・小説「定伯売鬼」		[古文、漢文共通] ・2年生までに学習した文法事項、句法、単語などを活用しながら文章全体を理解する力をつける。 [古文] ・古文の読みに慣れ、古典に親しむとともに、用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。 ・作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 [漢文] ・漢文訓読に慣れ、基本的な句法を理解する。 ・現代でもよく使われている故事成語の成り立ちを、文脈に沿ってとらえる [古文] ・文章に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情などを読みとり、ものの見方や感じ方、考え方を豊かにする。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技法を理解し味読する。 [漢文] ・漢詩の様々な表現に触れ、味わうことにより、言語感覚を豊かにする。 ・寓話的物語により何を訴えたかったのか考える。 [古文] ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているか考える。 [漢文] ・論理的な漢文を正しく理解し、論旨の展開をとらえ、主題を把握する力をつける。 ・中国の代表的な思想に触れ、ものの見方や考え方を広げる。 [古文] ・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 [漢文] ・登場人物、場面の移り変わりをとらえ、物語の構成や展開を的確に理解する。	
評価方法		学習の方法	
・授業への取り組み(予習、復習などの取り組み状況、授業時の発表などの参加の様子) ・定期考査 ・小テスト・課題テスト ・各種課題の提出状況		・予習＝原文音読と書写・現代語訳(漢文は書き下し文も書く)→授業＝予習の修正・深化。内容がよく分かり、深く分かるための読解の方法を学ぶ。→復習＝重要事項の暗記と読解の方法を習得する。	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	古典	理数科(2単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		・教科書 古典(大修館書店) ・参考書 【古文】新しい古典文法(桐原書店) 古文単語315(桐原書店) 【漢文】高校漢文(東京書籍)	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
【前期中間】 [古文] ・『宇治拾遺物語』「検非違使忠明の事」 ・『十訓抄』「大江山いくのの道」 ・『徒然草』「家居のつきづきしく」「花は盛りに」 ・『平家物語』「宇治川の先陣」 [漢文] ・故事成語「助長」「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」「糟糠之妻」「塞翁馬」 ・『史記』「鴻門の会」 【前期末】 [古文] ・『平家物語』「能登殿最期」 ・『枕草子』「中納言参りたまひて」「二月のつごもりごろに」 ・『伊勢物語』「初冠」「月やあらぬ」 [漢文] ・『史記』「項王の最期」 ・漢詩「江南春」「秋浦歌」「登高」 ・文章「桃花源記」 【後期中間】 [古文] ・『大和物語』「をばすて」 ・『大鏡』「道真左遷」「花山院の出家」 [漢文] ・文章「捕蛇者説」 ・思想「論語」「孟子」「荀子」 【学年末】 [古文] ・『土佐日記』「羽根」 ・『更科日記』「あこがれ」 ・『源氏物語』「桐壺」 [漢文] ・思想「老子」「韓非子」 ・小説「定伯売鬼」		[古文、漢文共通] ・2年生までに学習した文法事項、句法、単語などを活用しながら文章全体を理解する力をつける。 [古文] ・古文の読みに慣れ、古典に親しむとともに、用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。 ・作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 [漢文] ・漢文訓読に慣れ、基本的な句法を理解する。 ・現代でもよく使われている故事成語の成り立ちを、文脈に沿ってとらえる [古文] ・文章に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情などを読みとり、ものの見方や感じ方、考え方を豊かにする。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技法を理解し味読する [漢文] ・漢詩の様々な表現に触れ、味わうことにより、言語感覚を豊かにする。 ・寓話的物語により何を訴えたかったのか考える。 [古文] ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているか考える。 [漢文] ・論理的な漢文を正しく読解し、論旨の展開をとらえ、主題を把握する力をつける。 ・中国の代表的な思想に触れ、ものの見方や考え方を広げる。 [古文] ・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 [漢文] ・登場人物、場面の移り変わりをとらえ、物語の構成や展開を的確に理解する。	
評価方法		学習の方法	
・授業への取り組み(予習、復習などの取り組み状況、授業時の発表などの参加の様子) ・定期考査 ・小テスト・課題テスト ・各種課題の提出状況		・予習＝原文音読と書写・現代語訳(漢文は書き下し文も書く)→授業＝予習の修正・深化。内容がよく分かり、深く分かるための読解の方法を学ぶ。→復習＝重要事項の暗記と読解の方法を習得する。	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	現代文	3年普通科・理数科(2単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 新精選現代文(明治書院) ・資料集 クリアカラー国語便覧(数研出版) 生きる漢字・語彙力(駿台文庫) 現代文キーワード(河合出版) ・副教材 ちくま評論選(筑摩書房) 	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】</p> <p>○随想「孤独の必然性」</p> <p>○評論「旅の変容」</p> <p>○評論「和のからだ」</p> <p>【前期末】</p> <p>○小説「檸檬」</p> <p>○評論「言葉について」</p> <p>○評論「地図の想像力」</p> <p>【後期中間】</p> <p>○小説「オデュッセイア」</p> <p>○評論「他者の声 実在の声」</p> <p>○評論「視線の中の身体」</p> <p>【学年末】</p> <p>○センター試験・二次試験に向けての演習</p>		<p>【前期中間】</p> <p>文章理解のための読解の基礎について再確認する。随想では、筆者の思考に沿って、人間の孤独について考える。評論では、さまざまな具体例によって筆者の考えが論証される文章を読みとり、自分の考えを持つ。</p> <p>【前期末】</p> <p>様々なジャンルの小説・評論を読み、読解力をさらに向上させ、理解したものを自分の言葉で表現する。日本語の持つ特徴を学ぶ。広い視野で人間について考える。</p> <p>【後期中間】</p> <p>様々な小説作品に親しむ。筆者の主張や表現についての的確に理解、要約し、自分の意見を持つ。</p> <p>【学年末】</p> <p>これまでに培ってきた現代文読解の力をもとに、筆者がその文章で述べる内容を、論理的な展開に注意しながら読み、その文章全体を理解し、要約できる力を付ける。小説では、登場人物の行動を追いながら文章を読み、登場人物の心情を考える。近代や現代が抱える人間の課題や人間の生などについて述べた文章を読み、理解を深める。常用漢字の理解を確かなものにする。慣用的な表現の理解を確かなものにする。</p>	
評価方法		学習の方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み (予習、復習などの取り組み状況、授業時の発表などの参加の様子) ・定期考査 ・小テスト(漢字等) ・週末課題 (積極的な学習姿勢として評価する) 		<ol style="list-style-type: none"> 1 「授業第一主義」の考えのもと、「予習で自分の課題を明確に→授業→復習で学習事項を定着させる」のサイクルを大切にする。 2 論理的な展開に注意しながら評論を読み、その文章全体を読解し、要約する。 3 読解したものを自分の言葉で表現する。 4 辞書やキーワード集などを活用しながら語彙を自分のものにする。 5 積極的に読書に取り組み、自分一人で文章を読み、考え、理解し、その考えを文章にまとめる経験を積み重ねる。 	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
国語	古典	3年普通科・理数科(3単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
<p>古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>		<p>・教科書 古典(三省堂) ・参考書 【古文】体系古典文法(数研出版) 古文単語320(尚文出版) 【漢文】新明説漢文(尚文出版)</p>	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】 〔古文〕 『大鏡』『雲林院の菩提講』『肝試し』 『大和物語』『安積山』 『枕草子』『中納言参り給ひて』 「二月つごもりごろに」 〔漢文〕 思想「論語」「孟子」「老子」「荘子」</p> <p>【前期末】 〔古文〕 『徒然草』『世に語り伝ふること』 『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』『鷹』 『和泉式部日記』 「夢よりはかなき世の中を」 〔漢文〕 漢詩「把酒問月」「兵車行」 小説「杜子春伝」</p> <p>【後期中間】 〔古文〕 『平家物語』『忠度の都落ち』 『源氏物語』『須磨』 『毎月抄』『心と詞』 『正徹物語』『亡き人恋ふる』 〔漢文〕 思想「荀子」「墨子」「韓非子」</p> <p>【学年末】 センター試験・二次試験に向けての問題演習</p>		<p>〔古文、漢文共通〕 2年生までに学習した文法事項、句法、単語などを活用しながら文章全体を理解する力をつける。</p> <p>〔古文〕 場面設定を理解し、登場人物の心の動きに注目しながら、作者が表現しようとしたことを考える。和歌に関する知識を学習し、和歌の内容から、作者の着眼点を整理し、情景を思い浮かべる。</p> <p>〔漢文〕 中国の思想について理解し、見識を深める。</p> <p>〔古文〕 文章全体の現代語訳をつつ、筆者の感性や主張などを理解する読解力を養う。</p> <p>〔漢文〕 漢詩について修辞技巧に関する知識を学習し、作者の心情を理解する。登場人物の生き方を把握し、それを通して作者が何を主張しているかを考える。</p> <p>〔古文〕 必要な語句を補いながら文章全体を捉える力をつける。また、場面設定を把握し、光源氏など登場人物の心情を読みとり、表現する力をつける。</p> <p>〔漢文〕 作者が何を主張しているかを理解し、見識を深める。</p> <p>高校三年間の古典の学習の総仕上げとして、学習した文法や句法、単語の力をもとに正確に現代語訳し、内容を把握した上で自分の考えを持ち、それを表現する力を付ける。</p>	
評価方法		学習の方法	
<p>・授業への取り組み (予習、復習などの取り組み状況、授業時の発表などの参加の様子)</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト(単語等)</p> <p>・週末課題 (積極的な学習姿勢として評価する)</p>		<p>1 「授業第一主義」の考えのもと、「予習で自分の課題を明確に→授業→復習で学習事項を定着させる」のサイクルを大切にする。</p> <p>2 本文を文法、古文単語、句法、重要語に注意しながら現代語訳する。</p> <p>3 場面設定や筆者の主張、登場人物の心情を把握する。</p> <p>4 2、3について正しい現代語として表現する。</p> <p>5 当時の人々の考え方、価値観、文化に理解を深める。</p>	